

ひたちとアジア

第49号

2014年(平成26年)12月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

第12回 ひたち国際文化まつり 開催 楽しく体験した交流の一日



第12回 ひたち国際文化まつりは、10月25日(土)をメイン日として賑やかに開催され、会場の日立シビックセンターには国際交流の輪が広がりました。来場者は2,100人余り。天候に恵まれ、親子連れなどが多く、また外国の方々も来場し国際色豊かでした。

〔展示コーナーは10月21日～26日の6日間開催〕

1階「Kids & Experience Zone」この空間は、子どもたちが主人公 スタンプラリーのスタートとゴール地点が入り口にあり、各コーナーを体験しながらまわって参加賞がもらえます。

ギャラリーでは、私の町のたからものをテーマに、今年も公立の小中学校40校の生徒たちが描いた636点の絵画を展示しました。優秀な作品として8点が日立市長賞・日立市教育長賞など、他に12点が優秀賞を授与されました。日立市の国際親善姉妹都市ニュージーランド タウランガ市の子どものたちの絵画も28点展示され、それぞれの大切な「町のたからもの」を描いた絵画で、広いギャラリーがいっぱいになりました。

展示コーナーでは、タウランガ市と、同じく国際親

善姉妹都市のアメリカ バーミングハム市の紹介コーナーや、バングラデシュの子どもたちが描いた花の絵画展。そして、ミャンマーの日常をとらえた写真展など、さまざまな展示により1階のギャラリーとアトリウム空間は、国際色豊かな雰囲気となりました。

入口に近いアトリウムでは、ガールスカウトと世界の遊びを一緒に体験。小学生たちが仲良くフィリピンやベトナム、ニュージーランドの遊びを体験し、楽しく体を動かしていました。石けんに様々な模様を付けていくデコパージュも沢山の参加者が製作体験しました。午前中に行われた留学生によるお国紹介にはみんな集まり、韓国、ベトナム、アメリカの留学生との会話にチャレンジしました。それぞれの国のことも教えてもらえたかな? 「せかいのコードモタチーみんなトモダチ」ではパネルに描いた木に、世界で食べたいものや行ってみたいところを葉っぱの紙に書いて貼って、大きな木を完成させました。夢の国へ行ってみたいなどいうのもありました。

第12回ひたち国際文化まつり

2階「Talk Zone」みんなで語り合い、楽しみましようでは、第24回外国人の皆さんの日本語意見発表会が多用ホールで開催されました。地元大学・高校留学生・会社員・主婦ら12名が発表し、聴衆の投票により、第1位となるさくら賞には、「人間と自然は友達だ」をテーマに発表した来日6ヶ月のベトナム人留学生(茨城キリスト教大学)チャン ホン ウェインさんが選ばれました。タウランガ市へ短期留学の中学生体験報告や表彰式も行われ、終了後には発表者のみなさんと交流及び意見交換が行われ、大変盛況でした。



4階「Eating Zone」食文化を堪能したい方はこちらへの国際屋台村は、中国、インド、フィリピン、ラオス、バングラデシュ、ミャンマーの料理を100円~500円で販売し13時には完売。401号室では、しょうが茶のサービスがあり、来場者はそこで昼食をとりました。アジアの珍しい味を多くの方々が楽しみました。



5階「Culture Zone」いろんな国の文化を体験できますの501号室は、民族文化紹介としてミャンマー大使館から拝借した民族衣装やパネルによる紹介でミャンマーを身近に感じました。アジアのコーヒー、紅茶、お菓子などの試飲試食販売が行われ、特にラオスのコーヒーは大人気でした。茨城キリスト教大学の学生によるアジアンバザールでは、カンボジアに行き仕入れてきた素敵な雑貨小物などが販売されました。



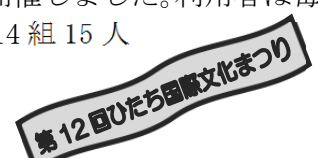
502号室では、日立市日中友好協会と茨城大学の中国人留学生が主体となり、中国の文化を展示紹介していました。中国茶の試飲コーナー、漢字遊びと古代文字クイズ、お札の紹介、組紐作り実演、中国文化の写真展及び映像による中国文化紹介等があり大勢の来場者が興味深げに見ていました。会場中央では、中国の今と昔の遊びとして玩具が展示され、チェンツ(羽子板遊びの羽を蹴鞠のようにして蹴る遊び)を中国人留学生と子どもたちが楽しそうに遊んでいました。

503号室は、フレンドリーあんずが主体となり、日本文化体験として、いけ花体験を開催しました。小さな剣山を使って、大きなプレートや小さなグラス等、来場者が好きな器でいけ花を楽しんでいました。また、外国人のいけ花展示として、タイ、韓国、中国、ベトナム等の方が日本のいけ花にチャレンジした作品を、会場各所に飾り会場を華やかにしました。

お茶席体験では広い和室で抹茶と和菓子を美味しくいただきました。お茶室の狭いにじり口からの入り方や、つくばいでの手水の使い方なども体験。また外国人には、茶道について英語での解説も行われました。



7階「Consultation Zone」外国人のみなさん何でも相談できますでは、日立国際交流協議会が、協力頂いた弁護士・医者によって4回目となる在住外国人向け生活と健康の無料相談会を開催しました。利用者は毎回増加傾向にあり、今回は14組15人(男性4人・女性11人)が相談に訪れたそうです。



カンボジア通信 第3シリーズ NO. 2 カンボジアの教育事情

元青年海外協力隊(理数科教師)・教育開発コンサルタント 浅水 伸介

浅水伸介さんは、茨城大学卒業後、2009年から青年海外協力隊員としてカンボジアで活動、その後短期ボランティアとして赴任、現在は日本の開発コンサルタントとして就職し、引き続き理数科教育事業に携わられています。

現在、カンボジアは大きな経済成長の只中にあり国民の7割が30歳未満である非常に元気な国です。発展途上国としての課題は多々ありますが、その一つに教育の問題が挙げられます。学力調査の一例をご紹介します。

中学生に「0.5時間=(?)分」という問題を出したところ、正解(30分間)を答えられたのは僅かで、多くの生徒が50分間と誤答する結果となりました。この事例の様に、日本でごく一般的な学校教育を受けてきた者ならば常識的に答えら

れる内容でも、カンボジアはまだこの程度だという事を認識しなければなりません。何故、このような事例が起こるのか理由を考え、それに対処していくのが途上国支援の仕事の基本となります。理由として、教科書の内容が子供にとって難しすぎます。実は教

える立場にある教師達も基本的内容を理解せずに単に暗記を強いているケースがほとんどです。また、扱う内容が非常に多く、規定の授業時間では扱いきれていません。生徒の理解度をチェックするための小テスト等はほとんど実施されておらず、教育の質はアセアン中で最も低いグループに属しています。このままではカンボジアのせっかくの経済成長が、単に格差を広げて搾取される不幸な者を生み出してゆく結果を招くでしょう。

ここで、明るい話題を。今年になって教育大臣が変わり、目覚ましい改革が実行されています。例えば試験時の不正行為を徹底的に取り締まりました。その結果、先日行われた高校卒業認定試験での合格率は僅か25%しかなく(例年は80%

位)、カンボジアの教育の質の問題点を浮き彫りにしました(追試実施が決定)。

これまで不正行為は、表面上は禁止されていましたが、実際には、受験生は試験監督に賄賂を渡し、見逃してもらっていました。今年の受験生は大変なショックを受けたとの事でしたが、この取り締まりは大いに評価できる事です。これがカンボジアの教育が一気に良くなる転換点になってもらいたいです。今まで何故不正が野放しにされてきたのか、やはりその理由も考えてみる価値は



教員養成校の学生達がお互いにわかりやすい授業について話し合っている場面です。

あります。大きな理由の一つに、教師の月給は僅か1万円ほどで、これだけでは生活はできない事が挙げられます。教師に限らずですが、国が公務員に生活に見合った給料を渡せない分、彼らはその立場を利用してワイロで家計を補うという構造ができ上がってし

まった事がカンボジアの腐敗の大きな原因です。日本的にはダメなものはダメなのですが、私達支援者は単に「ダメ」と言うだけではなく、その原因をしっかりと探す努力が求められます。教育省は今後段階的に教師の給料を上げていくと表明しています。道のりは長いですが、教師達にとって安心して生活できる収入がなければ今後も教育現場を利用した汚職は繰り返されるでしょう。私がカンボジアで仕事をしてきて常に心がけている事は、「いきなり良くはならない。少しずつでも良くなっていけば」位の気持ちで焦らない様にする事です。カンボジアを良くして行くのはカンボジア人をもってしか、為し得ないのですから。

2014年10月記

情報コーナー

初春落語会

とき 平成27年1月17日(土) 開場 13:00 開演 13:30
 ところ 日立シビックセンター 2階多用途ホール
 出演 初音家左橋、林家二楽(紙切り)、橘家富蔵、初音家左吉
 木戸銭 2,000円(全席自由)《好評発売中》
 内容 実力派真打と紙切りによる落語会。お楽しみ抽選会、
 しびっく寄席茶屋をご用意してお待ちしています。



関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー (2014年11月~2015年3月) 一般参加可能は★印

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
日立市日中友好協会	春節祭	2月15日(日)16:00~ ★	日立市民会館111号室	090-2531-5444(白土)
フレンドリー あんず	あんずの年忘れ会&地域交流会	12月14日(日)12:00~ ★	会瀬交流センター	0294-21-4150(福地)
	外国人のための生け花クラブ	第2又は第3金曜日 10:00	教育プラザ	
	日本語教室	毎週火曜日 19:00 金曜日 14:00	(火)女性センター (金)教育プラザ	0294-25-3728(反町) 0294-42-8176(金岡)
国際交流 ボランティア ネットワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00 土曜日 10:00	(木)教育プラザ (土)女性センター	0294-21-5849(横田)
	国際理解講演会	2月21日(土) 13:30~ ★	日立シビックセンター 502号室	
日立ユネスコ 協会	伝承味噌造り	12月13日(土)	川尻町(講師宅)	0294-35-6034(藤原)
	書き損じはがきキャンペーン	1月~3月 ★		
	県「絵で伝えよう!私の町のたからもの」絵画展	1月14日(水)~18日(日) ※表彰式18日 ★	県立図書館	
	県「絵で伝えよう!私の町のたからもの」絵画展巡回展 in 日立	1月27日(火)~ 2月1日(日)★	イトーヨーカドー日立店	
ガールスカウト 茨城10団	発団40周年記念の集い	11月9日(日)9:30~12:30	かみすわ山荘	0294-23-3156(小貫)
	県北合同シンキングデー	2月1日(日)★	会瀬青少年の家	
	姉妹都市交流タウランガ派遣	3月下旬から4月上旬	タウランガ市	
カンボジア支援会	ふれあいの旅	11月12日(水)~18日(火)	カンボジア	090-4177-5393(菊池)

日立市内・他の国際交流関連団体との交流記録

◆茨城キリスト教大学染谷研究室訪問 7/3・9/10 ひたちとアジア

アジアの本年度テーマ国ミャンマーの勉強会開催の件、ひたち国際文化まつりへのアジアンバザール出店の件など。
 ◆茨城大学工学部長他訪問 8/4 市民活動課の協力により、ミャンマーからの留学生のひたち国際文化まつりへの協力要請など。
 ◆三鷹国際交流フェスティバル視察 9/21 井の頭公園 4万人の大規模参加状況を学ぶ。
 ◆茨城大学工学部中国人留学生による懇親会訪問 10/13 台風により室内でのバーベキュー大会に変更、友好を深める。
 ◆第2回ミャンマー祭り 東京芝増上寺見学 10/18 大使館ブースにて文化まつりへの協力御礼と盛大なまつり内容を堪能。
 ◆茨城キリスト教学園第66回学園祭訪問 11/3 日立シビックセンター長とともにアジアンバザール見学と研究棟訪問。

活動記録

(2014. 8. 1~11. 30)

編集後記

- ◆活動推進部会(メンバー定例会)
8/1、9/5、9/30、11/11
- ◆広報部会 9/5、9/30、10/7、11/11
- ◆ひたち国際文化まつり実行委員会
8/6、9/10、10/1、11/27

サッカーをやっていたこと、仕事で東南アジアに行ったことがベースになり、数年前からカンボジアの支援を始め、昨年「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」に入会しました。一人が行うボランティア活動の影響力は極めて小さく力不足を感じるが、国を超えたひとり一人の繋がりが世界平和につながると信じています。今後も各団体・個人と連携・協力しながら活動を継続して行きたい。仏陀の言葉「人はただ愛によってのみ憎しみを越えられる 人は憎しみによっては憎しみを越えられない」 菊池

広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでも ご覧になれます。http://www.civic.jp
 連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで
 TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail salon@civic.jp